

# 野菜の展望

6月に入り、地物野菜が豊富に出回る時期となり、施設物の果菜類や露地野菜の順調な入荷が予想されますが、梅雨入りシーズンでもあり、降水量によって入荷量や価格の変動が大きい月でもあり、商品管理に気を付けたいところです。

季節商材の梅は和歌山産を主体に福井・石川産の入荷です。和歌山産南高梅は作柄が悪い。L中心の出荷となるが、平年より入荷が少なく、終了も早い見込みです。らっきょうは石川産を主体に徳島・高知産の入荷となります。

葉野菜類のレタスは長野産主力に石川産の入荷となります。ブロッコリーは石川産が中心となり、加賀・白山・珠洲の各農協を通じて潤沢な入荷が予想されます。下旬からは長野・北海道産の入荷も予定しています。アスパラガスは、春芽は長野・山形産が中心で、上旬から中旬に向かい終了時期となります。夏芽は上旬から長崎・佐賀産が入荷し最盛期を迎えます。キャベツは愛知産夏キャベツを中心に茨城・石川産の入荷で、長野産は下旬からの入荷予定です。白菜は茨城産主体に長野産の入荷が見込まれます。葱は夏葱へと切り替わり、茨城・大分産主力の入荷となります。福岡産万能葱を中心とする青葱は、他に愛知・静岡・長野産を加えた販売です。ほうれん草は飛騨高冷地主体に石川・静岡産の入荷で、昨年並みの入荷量を予定しています。

果菜類の胡瓜は石川・群馬・福島・山形産の潤沢な出回りが見込まれます。トマトは石川・愛知産主力となり、石川産は最盛期を迎えます。茄子類は高知・愛知・群馬・石川産主力で、それぞれ順調な入荷を見込んでいます。南瓜は鹿児島・長崎産主体に石川産、輸入品はメキシコ中心の入荷となります。スイートコーンは愛知・群馬・山梨産の入荷で、下旬には愛知産がピークを迎えます。

根菜類の大根は青森産主力に石川産の入荷を予定しています。人参は岐阜・和歌山・青森産の入荷となります。蓮根はハウス物で愛知・熊本産の入荷を予定しています。甘藷は石川産が上旬で終了となり、茨城産貯蔵物と高知産ハウス物の入荷を予定しています。

菌茸類の菌床椎茸は石川産主体に長野・富山・徳島産の入荷となります。気温上昇と共に上位等級品の比率が下がりますが、比較的順調な入荷が予想されます。なめこ・えのき・しめじ・まいたけ・エリンギは石川・長野・新潟産の入荷で減産期に入っており、6月上旬はGW休みの影響により若干入荷は減少しますが、その後は回復し安定した出回りとなります。

土物類の馬鈴薯は長崎・静岡産主体の入荷で長崎産は作柄がやや不良と見られ、前年並か前年よりやや少ないと予想されます。玉葱は愛知・兵庫・大阪産等の入荷となります。各産地共に大玉中心で平年並の入荷量の予想です。ごぼうは群馬産の出荷が開始され、順調な入荷となります。新生姜は4kgDBで高知・和歌山産の入荷を予定しております。

6月は父の日、中元商戦の幕開けとなる月です。各イベントにマッチした拡販にご協力いただきたくお願い申し上げます。

《野菜第三部部长 杉本智則》

# 果実の展望

いよいよ梅雨入りの季節を迎えます。今月の果実は、県内産果実については地物の西瓜・デラウエア等の出荷が始まります。

ハウスみかんは愛知・佐賀・福岡産の入荷で、愛知産は中旬より増量が見込まれます。品質は良好で玉流れは平年並みのSサイズ中心にMサイズの流れとなっています。

西瓜は前半が熊本・千葉産主力となり、6月15日(月)頃から石川産の販売も予想されます。県内産については7月中旬に最盛期を迎えると予想されます。小玉西瓜については上旬より県内産の入荷を予定しています。

初夏を彩る桜桃は山形産が主力で、平年並みの入荷となりそうです。露地物は上旬以降からの入荷予定で、20日前後にピークを迎えるものと思われます。無加温物はL・Mサイズ中心の入荷となります。

デラウエアは前半が大阪産、奈良産中心の入荷となっており、県内産については20日過ぎからかほく市高松地区を中心として金沢市近郊のものが加わり、日増しに入荷量は増え、本格的な時期を迎えます。

瓜類ではアールスメロンが静岡・高知・熊本産の入荷で、昨年並みの出回りとなります。愛知・茨城産のアンデス・クインシー・イエローキング等は、2Lサイズ中心の玉流れでいずれも平年並みの入荷が予想されます。

桃は山梨産中心の入荷で、山梨産は中旬より露地物の入荷となります。

スモモについては和歌山・山梨・福岡産の出回りとなります。生育は各産地ともに早く、主力の和歌山・山梨産については前年よりも多めの入荷量が予想されます。

いちじくは愛知県産のハウス物の入荷があります。

輸入果実のバナナについては、フィリピン産・南米産の入荷で、フィリピン産は、産地の干ばつ影響から入荷は減少する予想です。オレンジはカリフォルニア産バレンシア種中心に安定した入荷となり、オーストラリア産ネーブル種は中旬より入荷予定です。グレープフルーツについても上旬より南アフリカ産中心に安定した出回りが予想されます。レモンはカリフォルニア産中心ながら終盤に向かい、加えてチリ産の入荷が始まります。パインはフィリピン産ゴールデン・スイーティオ共に安定した入荷が予想されます。アメリカンチェリーは上中旬は、カリフォルニア産ピング種、下旬はワシントン州産早生種の入荷となります。

キウイフルーツはニュージーランド産のグリーン・サンゴールドの入荷です。その他にもマンゴー・アボカド・ハネジューメロン・マンゴスチン・ライチといったトロピカルフルーツ等が豊富に入荷して季節感を漂わせてくれます。今月は中元シーズンに入り、ギフト需要は増加となります。何卒ご拡販の程宜しく御願い申し上げます。

《果実部部长 荒木 智》